

2025年度【秋入学】 桃山学院大学 大学院

学生募集要項

博士前期課程 (6月試験)

- 文学研究科(学内推薦・研究生推薦・一般入試・社会人入試・留学生入試)
- 社会学研究科(学内推薦・研究生推薦)
- 経済学研究科(学内推薦・研究生推薦)
- 経営学研究科(学内推薦・一般入試・社会人入試・留学生入試)

博士後期課程 (6月試験)

- 文学研究科
- 社会学研究科
- 経済学研究科
- 経営学研究科

目次

博士前期課程

01. 入学試験要項 (博士前期課程)

博士後期課程

02. 入学試験要項 (博士後期課程) 15

03. 授業料後払い制度、学費ローン、国の教育ローンのご案内 24

出願書類 (本学所定用紙) 一式

- ☐ 入学志願票
- ☐ 入学検定料振込依頼票 (A)・収納証明書 (B)・領収書 (C)
- ☐ 学歴等確認書
- ☐ 研究計画書
- ☐ 指導教員による推薦書 [博士前期課程 学内推薦・研究生推薦用]
- ☐ 自己申告書
[博士前期課程社会人A入試用 (経営学研究科)]
[博士前期課程社会人B入試用 (経営学研究科)]
- ☐ 出願用封筒宛名ラベル

入学試験に関する個人情報の取り扱いについて

入学試験の出願に際して志願者から提供された個人情報は、「個人情報保護法」および「桃山学院大学個人情報保護規則」に基づき適正に処理し、入学試験関係業務および本学での教育活動関係以外には使用しません。なお、前述の業務について、その一部を業者に委託すること（以下「委託業者」）がありますが、委託業者とは本学の個人情報保護規則に則した条項を締結することにより管理・運営いたします。



桃山学院大学

学部事務室

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1番1号

Phone. 0725-92-7062 (学部事務室直通)



<http://www.andrew.ac.jp/>



gakubuop@andrew.ac.jp

秋④

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員
文学研究科	言語・文化専攻 (英語圏文化研究コース、応用言語学・英語教育研究コース、国際文化・メディア文化研究コース、日本語・日本文化研究コース)	10名
社会学研究科	応用社会学専攻 (現代社会分野、現代文化分野、社会福祉分野)	10名
経済学研究科	応用経済学専攻 (アカデミックコース、税理士コース)	10名
経営学研究科	経営学専攻 (経営学分野、経営管理論分野、会計学分野、経営情報分野、商学分野)	10名

※ 募集人員は2025年度の全入試制度を合わせたもの。

2. 出願資格

P.7～P.14 の該当箇所を参照してください。

3. 出願手続

(1)出願期間

《6月試験》2025年5月12日(月)～5月30日(金) [締切日必着]

(2)出願書類

①～③、⑤～⑥については本大学院所定の用紙を使用してください。

① 入学志願票 必ず本人が記入すること

② 入学検定料収納証明書 (B) ※ 入学志願票に貼付してください。

③ 学歴等確認書

④ 出身大学発行の卒業(見込)証明書および成績証明書の原本

(出願前 3ヵ月以内に発行されたもの/併記されたものも可) ※ コピー不可

【注意】日本語と英語以外の言語で記載された出願書類について

大使館・領事館・日本語学校(但し、この場合は日本語学校名、翻訳者名とそれぞれの印を必ず押印のこと)等の公的機関において原本の内容に相違ないという証明を受けた、日本語または英語の翻訳を付すること。

⑤ 研究計画書

⑥ <社会人入試出願者のみ(文学研究科を除く)> 自己申告書

[以下の⑦～⑩については留学生入試出願者のみ提出すること。ただし、本学の学部卒業見込者は提出不要。]

- ⑦ パスポートの写し（氏名・パスポート番号・顔写真のページ）

【注意】各種証明書の氏名がパスポートの記載と異なる場合

大使館・領事館・日本語学校等の公的機関による、同一人物であるという証明書を提出すること。

- ⑧ 在留カードの写し

- ⑨ 住民票（出願前 3 ヶ月以内に発行されたもの）

- ⑩ 〈日本語学校在籍者（修了者含む）のみ〉日本語学校発行の修了（見込）証明書および成績証明書の原本

[以下の⑪～⑫については該当者のみ提出すること。]

- ⑪ 〈該当者のみ〉出身大学院発行の修了（見込）証明書および成績証明書の原本

（出願前 3 ヶ月以内に発行されたもの／併記されたものも可） ※ コピー不可

【注意】日本語と英語以外の言語で記載された出願書類について

大使館・領事館・日本語学校（但し、この場合は日本語学校名、翻訳者名とそれぞれの印を必ず押印のこと）等の公的機関において原本の内容に相違ないという証明を受けた、日本語または英語の翻訳を付すること。

- ⑫ 「大学院修士段階における授業料後払い制度」希望申請書

詳細はP.24をご確認ください。

(3)入学検定料

35,000 円

振込方法については、「4. 入学検定料の振込方法」参照。

(4)出願方法

入学検定料納入後、本学入学試験事務室（学部事務室）へ郵送または持参してください。

- ① 郵送の場合

簡易書留・速達郵便にて出願期間内に必着するよう郵送してください。封筒は市販の角 2 封筒に所定の宛名ラベルを貼って郵送してください。

- ② 持参の場合

受付時間……平日 9 : 00 ～ 17 : 00

桃山学院大学 入学試験事務室（学部事務室） 〒 594 - 1198 大阪府和泉市まなび野 1 - 1

4. 入学検定料の振込方法

下記の方法で納入してください。現金や為替では受け付けません。なお、入学検定料の振込みは、出願受付開始日の 1 週間前から可能です。

(1)銀行等金融機関での振込みの場合

- ① 本大学院所定の入学検定料振込依頼票（A）、収納証明書（B）、領収書（C）に所定事項を記入し、切り離さず入学検定料をそえて最寄りの金融機関（郵便局（ゆうちょ銀行）を除く）の窓口へ提出してください（三菱UFJ銀行の本・支店で振込みの場合、手数料は受取人負担です）。ATMからの振込みはしないでください。
- ② 金融機関窓口で呈示の際、振込依頼票（A）の枠部分（振込先など）を打電するよう依頼してください。
- ③ 金融機関の収納印が収納証明書（B）、領収書（C）にもれなく押印されているか確認してください。収納印のない入学志願票は受け付けません。
- ④ 収納証明書（B）は、入学志願票の所定欄に貼付してください。
- ⑤ 領収書（C）は、志願者本人が保管しておいてください。

5. 出願についての注意

(1) 海外在住で出願をお考えの方は、桃山学院大学学部事務室まで、できるだけ早くご連絡ください。

〔TEL〕 0725-92-7062（学部事務室直通）

〔MAIL〕 gakubuop@andrew.ac.jp

(2) 既納の入学検定料および出願書類は理由の如何にかかわらず返還しません。

(3) 出願書類に虚偽の記載が判明した場合、合格あるいは入学を取り消します。

※ 障がいのある入学志願者の受験について

- 身体、機能などに障がいのある方、精神障がい、発達障がいの方は、出願前に学部事務室まで必ずご相談ください。
- 本学では、支援メニューや施設については一定の範囲内で見直し・改善に努めておりますが、個別的な配慮には限界があります。入学後の学修や、学生生活について、出願前には学部事務室、入学決定後には指導教員にご相談ください。

6. 試験日・場所

(1) 試験日

《6月試験》 2025年6月15日（日）

(2) 試験地 桃山学院大学 和泉キャンパス（大阪府和泉市まなび野1-1）

7. 選考方法

P.7～P.14の該当箇所を参照してください。

8. 受験についての注意

- (1) 受験者は、受験票に記載された集合時間までに試験室に入室し、各自の受験番号で示された席についてください。
- (2) 机の上に置くことのできるものは、受験票、鉛筆（HB）、消しゴム、簡易鉛筆削り、時計（時計機能だけのもの）、眼鏡に限ります。下敷きの使用は認めません。
- (3) 「電子辞書」「携帯電話」「スマートフォン」「腕時計型端末」「ICレコーダー」等の電子機器類は使用できません。試験室内では、必ず電源を切ってください。
- (4) 試験開始15分経過後は、許可なく試験室に入ることはできません。本学係員の指示に従ってください。また、試験時間の2分の1経過後の入室は認めません。但し、公共交通機関の事故などによる遅刻の際には特別に受験を認めることがありますので、延着証明書などを持参し試験実施本部に申し出てください。
- (5) 試験時間の途中で退室する事はできません。但し、病気のため受験に耐えられなくなった場合などは、監督者にその旨を告げ、指示に従ってください。
- (6) 試験場内においては、すべて係員の指示に従ってください。
- (7) 試験日当日、自家用車での上場は禁止します。また、学内の食堂は利用できません。
- (8) 駅および試験場周辺で合否電話や電報の受付、住居紹介などの案内を配布する者があっても、本学とは一切関係ありませんので、十分注意してください。

9. 合格発表

(1)合格発表日

《6月試験》2025年6月18日（水）[投函予定日]

(2)発表方法

合否結果は全受験者に郵送にて通知します。電話などによる問い合わせには一切応じません。合否通知が投函予定日の翌々日になっても届かない場合は、必ず学部事務室までご連絡ください。合格通知書の未着による入学手続期間の延長は一切認めません。

漢字氏名の表記について

本学では受験生の漢字氏名表記に関して、本学のコンピュータシステムで対応できる範囲の文字で表記します。詳しくは合格通知書に同封する「入学手続案内書」を参照してください。

10. 入学手続

合格者は下記期間内に入学手続Ⅰ（入学申込金の納入）及びⅡ（前期授業料の納入〈単位制学費選択者は在籍料の納入〉及び入学手続書類の送付）を完了してください。詳しくは、合格通知書に同封する入学手続案内書に明記します。なお、各期間内に所定の手続を完了しない場合は、入学辞退とみなしますので十分に注意してください。

《6月試験》 入学手続Ⅰ：2025年6月19日（木）～7月4日（金）[締切日]

入学手続Ⅱ：2025年6月19日（木）～7月16日（水）[締切日]

注 1) 入学申込金は、前期授業料（単位制学費の場合は在籍料）を納入した時点で入学金に充当します。

2) 一旦納入された入学申込金及び提出書類は、返還しません。

3) 入学手続Ⅱ完了後に入学を辞退される場合（専願入試除く）、2025年9月1日17:00までに申し出のあった方については、入学金（入学申込金）以外の既納付金（授業料）を返還いたします。詳細は入学手続案内書を参照してください。

11. 学 費

「大学院修士段階における授業料後払い制度」については、P.24をご確認ください。

下記①か②の選択については入学手続Ⅱ期間において決定していただきます。詳細は入学手続案内書にてご案内いたします。

① 非単位制学費

種 別	1 年 次 所 要 額	
	入学時（前期）	後 期
入 学 金 ※入学年度のみ	300,000円	-
授 業 料	362,500円	362,500円
計	662,500円	362,500円

※1. 本学の学部卒業生および本学大学院の博士前期課程修了者の入学金は所定額の2分の1とし、授業料は所定額より年額50,000円（各期25,000円）を減額するものとします。

※2. 単位制学費選択者については、授業料の減額はありません。

② 単位制学費（社会人のみ対象）

〈文学研究科、社会学研究科、経済学研究科、経営学研究科 対象〉

種 別	1 年 次 所 要 額	
	入学時（前期）	後 期
入 学 金 ※入学年度のみ	300,000円	-
在 籍 料	50,000円	50,000円
登録料（1単位あたり）	・修了必要単位数が32単位の場合 39,000円 ・修了必要単位数が36単位の場合 35,000円	

※1. 単位あたりの登録料は下式により算出します。なお、千円未満は四捨五入します。

〔非単位制学費の授業料の合計額（725,000円）－本表在籍料（100,000円）〕÷〔当該課程修了必要単位数（32単位または36単位）÷当該課程標準修了年限（2年）〕

※2. 本学の学部卒業生および博士前期課程修了者の入学金は所定額の2分の1とします。

※3. 修了必要単位数は、文学研究科の場合、論文型32単位、課題型36単位、社会学研究科の場合、32単位、経済学研究科の場合、36単位、経営学研究科の場合、論文型32単位です。

※4. 留学ビザをもつ留学生は、単位制学費を選択できません。

※5. この学費納入方法を選択すると、標準修業年限2年の課程に最長6年在籍することができます。

※6. 単位制学費を選択した者は、修了まで単位制学費を適用するものとします。

12. 外国人留学生に対する諸制度

外国人留学生に対して下記の諸制度を用意しています。

①私費外国人留学生対象の奨学金・授業料応急減免制度（国際センター事務課）

②入学後の学費延納制度（学生支援課）

上記の各制度の詳細については、以下までお問い合わせください。

＜国際センター事務課＞

TEL : (+81-725-92-7531) E-Mail: ryugakusei@andrew.ac.jp

＜学生支援課＞

E-Mail: gakusei@andrew.ac.jp

文学研究科博士前期課程における 学修形態ならびに在学期間の選択など（重要）

1. 大学院文学研究科博士前期課程では、論文2年修了型・論文1年修了型・課題2年修了型・課題1年修了型の4タイプの履修パターンがあります。それらのうちから1つを選択して、学習・研究をすることになります。
*課題型で修了された場合は、本学大学院博士後期課程に進学することはできません。
(博士後期課程の入学審査時に修士論文の内容を審査するからです。)
2. 論文型か課題型か、1年修了型か2年修了型かの何れかを選択することができますが、入試科目等の変更はありませんし、いずれにしても、そのことは可否には一切関係ありません。したがって、各自の履修計画にあわせて、自由に選択してください。
3. 入学後、演習担当の指導教員との合議のうえ、履修形態を論文型にするか課題型にするかを決定します。なお論文型履修の修了必要取得単位数は32単位以上、課題型履修の修了必要取得単位数は36単位以上となります。
4. 標準的な履修形態では2年の修了期間を要することになっていますが、1年で修了することを希望される場合には、次のような条件ならびに手続きが必要となりますので、よく注意してください。
 - ①他の大学院（通信制の大学院・放送大学院・海外の大学院を含みます）において、一定の単位を修得済みであることが条件となります。入学後、他の大学院で修得された単位数を本大学院での修了に必要な単位数に組み入れることができます。ただし、単位数には上限がありますので、詳しくは入試・広報課までお問合せください。
 - ②受験出願時に提出された「研究計画書」の内容について、本大学院文学研究科が1年で修了可能な優れた内容であると判断することが必要となります。
 - ③希望される方は、入学手続期間内に入試・広報課までその旨お申し出ください。また、入学手続完了後、入学式までの早い時期に、これらの修得単位数を証明する書類を本学教務課大学院係の窓口あてに持参して、「1年修了希望申請」の手続きを行ってください。（遠方などで郵送による手続きを希望される方は、事前に教務課大学院係に電話連絡〈0725－92－7595（代）〉をしてください）

仮想質問

Question：「1年修了と2年修了では単位数に違いがあるのですか」

Answer：「論文型・課題型いずれの場合も、1年修了か2年修了かを問わず、修得しなければならない必要単位数は同じです。なお、本学大学院文学研究科に在学中に、通信制大学院・放送大学の大学院・他の大学の大学院科目等履修生制度（海外の大学の大学院を含む）などを活用する場合、その修得単位数を修了単位数に含めることができます。入学前に修得した単位とあわせることが可能ですが、単位数には上限がありますので、詳しくは入試・広報課までお問合せください。無理のないように、演習担当指導教員の助言をもとに、自分の在学期間のあり方を合理的に計画・選択するようにしてください」

大学院学則の抜粋

桃山学院大学大学院学則

第17条 修士課程および前期課程の修了の要件は、本大学院に2年以上在学し、研究科所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた後、本大学院の行う修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査および最終試験に合格することとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、在学期間に関しては、特に優れた研究業績をあげた者に限り、本大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。

注：「特に優れた研究業績」とは、次の2つの条件を満たすものとします。

- ①全履修科目の8割以上でA評価以上を受けていること。
- ②論文（査読付が望ましい。研究ノートは不可）1本以上を公刊していること。（受理可）

■文学研究科

学内推薦

研究生推薦

一般入試

社会人入試

留学生入試 (6月試験)

【出願の際の手続き】

出願するためには、事前に希望指導教員からの「内諾」が必要となります。

本学大学院ホームページの教員一覧より、希望指導教員を確認し、自身で希望指導教員に直接連絡をとり、研究計画について相談のうえ「内諾」の連絡を受けとってください。

希望指導教員より内諾を得た方には入試・広報課から「内諾」の通知書をお送りいたします。

「内諾」の通知書がない場合には出願することができませんのでご注意ください。

なお「内諾」は合格を保証するものではありません。あくまでも、出願資格を認めるというものです。

「内諾」の手続きには1週間程度の時間がかかりますので、研究計画についての指導教員への相談は2025年5月20日(火)までに完了してください。

【教員一覧】

<https://www.andrew.ac.jp/researchers/c5o8gl000000000dq.html>



1. 出願資格

【一般・社会人・留学生】の出願資格(3)または(4)による志願者は、必ず出願期間前に学部事務室までお問い合わせください。

【学内推薦】

本学のいずれかの学部を卒業した者で、下記の(1)～(3)までのすべてに該当する者。

- (1)成績優秀で、研究意欲と能力を有し、かつ卒業後3年以内の者。
- (2)下記に定める推薦条件を満たし、学部指導教員(演習担当教員等)の推薦を得ている者。
- (3)本学大学院研究科を専願する者。

学内推薦条件

卒業時の成績がS評価、A評価併せて20科目以上(演習3・4を含むのが望ましい)とする。また、編入学生については、編入前の在籍校の成績と本学卒業時成績とを加算する。

(注意事項)

1. 必ず希望指導教員名を研究計画書に記入してください。
2. 以下の場合は、必ず出願期間前に学部事務室にお申し出ください。
 - ・国際教養学部以外の学部生
 - ・3年次、4年次に演習を履修していない場合
 - ・3年次、4年次の演習指導教員以外を指導教員として希望する場合

【研究生推薦】

下記の(1)～(3)までの全てに該当する者。

- (1)出願時に本学大学院研究科に研究生として在籍している者。
- (2)本学指導教員の推薦を受けた者。
- (3)本学大学院研究科を専願する者。

【一般】

下記の(1)～(3)のいずれかに該当する者。

- (1)大学を卒業した者、または、2025年9月30日までに卒業見込みの者。
- (2)文部科学大臣の指定した者。以下の者を含む。
 - ① 修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科
 - ② 修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科
 - ③ 高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科

のいずれかであって、学位規則第6条第1項の規定に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定された教育機関を修了し、学士の学位を授与された者、または修了する見込みの者で2025年9月30日までに学士の学位を授与される見込みの者。

- (3)本学大学院研究科の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認定した者で、2025年10月1日現在で満22歳に達している者。

〔社会人〕

下記の（１）～（３）のいずれかを満たし、かつ（４）に該当する者。

- （１）大学を卒業した者。
- （２）文部科学大臣の指定した者。以下の者を含む。
 - ① 修業年限 ２年の短期大学に置かれた修業年限 ２年の専攻科
 - ② 修業年限 ３年の短期大学に置かれた修業年限 １年の専攻科
 - ③ 高等専門学校に置かれた修業年限 ２年の専攻科

のいずれかであって、学位規則第 ６ 条第 １ 項の規定に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定された教育機関を修了し、学士の学位を授与された者、または修了する見込みの者で 2025 年 9 月 30 日までに学士の学位を授与される見込みの者。

- （３）本学大学院研究科の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認定した者で、2025 年 10 月 1 日現在で満 22 歳に達している者。

- （４）次のいずれかに該当し、本学大学院研究科が適当と認めた者。

- ① 企業・行政体・教育機関等において、出願時に ３年以上の実務経験を有する者。
- ② 上記と同等以上の社会的経験を有している者。

〔留学生〕

下記の（１）～（３）のいずれかに該当する者。

- （１）外国における正規の教育課程に基づく学校において、16 年の課程を修了した者。
- （２）日本において外国人留学生として大学を卒業した者、または、2025 年 9 月 30 日までに卒業見込み者。
- （３）本学大学院研究科の個別審査により、前 ２ 項と同等以上の学力を有すると認定した者で、2025 年 10 月 1 日現在で満 22 歳に達している者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けた者と認定された外国人は除く。

2. 選考方法

〔学内推薦〕〔研究生推薦〕面接試験、出願書類により総合的に判定します。

〔一般〕〔社会人〕〔留学生〕筆記試験、面接試験、出願書類により総合的に判定します。

3. 試験日時・科目

《 ６ 月試験 》 2025 年 6 月 15 日（日）

〔学内推薦〕〔研究生推薦〕

時 間	試験科目	内 容 等
13：00 ～	面 接	研究計画に関連する主題について口頭試問を行います。

[一般]

時 間	試 験 科 目 ・ 配 点	内 容 等
13 : 00 } 14 : 30	【英語圏文化研究コース】 英語および専門科目 (100点)	研究コースに関連する主題について論述試験を行います。 (英語能力に関する問題を含みます。本学大学院研究科で用意する辞書使用可)
	【応用言語学・英語教育研究コース】 英語および専門科目 (100点)	研究コースに関連する主題について論述試験を行います。 (英語能力に関する問題を含みます。本学大学院研究科で用意する辞書使用可)
	【国際文化・メディア文化研究コース】 【日本語・日本文化研究コース】 専門科目 (100点)	研究コースに関連する主題について論述試験を行います。 (志願者の研究計画書の内容によっては、関連する外国語能力についての問題を課す場合があります。本学大学院研究科で用意する辞書使用可。但し、日本語辞書は使用不可。)
15 : 00 }	面 接	研究計画に関連する主題について口頭試問を行います。

[社会人]

時 間	試 験 科 目 ・ 配 点	内 容 等
13 : 00 } 14 : 30	専門科目 (100点)	研究コースに関連する主題について論述試験を行います。 (志願者の研究計画書の内容によっては、関連する外国語能力についての問題を課す場合があります。本学大学院研究科で用意する辞書使用可。但し、日本語辞書は使用不可。)
15 : 00 }	面 接	研究計画に関連する主題について口頭試問を行います。

[留学生]

時 間	試 験 科 目 ・ 配 点	内 容 等
10 : 30 } 12 : 00	日本語 (100点)	研究の遂行に必要な日本語の基礎的能力について試験を行います。 (辞書使用不可)
13 : 00 } 14 : 30	【英語圏文化研究コース】 英語および専門科目 (100点)	研究コースに関連する主題について英語能力に関する試験(本学大学院研究科で用意する辞書使用可)および日本語による論述試験を行います。(但し、日本語辞書は使用不可)
	【応用言語学・英語教育研究コース】 英語および専門科目 (100点)	研究コースに関連する主題について英語能力に関する試験(本学大学院研究科で用意する辞書使用可)および日本語による論述試験を行います。(但し、日本語辞書は使用不可)
	【国際文化・メディア文化研究コース】 【日本語・日本文化研究コース】 専門科目 (100点)	研究コースに関連する主題について論述試験を行います。 (志願者の研究計画書の内容によっては、関連する外国語能力についての問題を課す場合があります。本学大学院研究科で用意する辞書使用可。但し、日本語辞書は使用不可。)
15 : 00 }	面 接	研究計画に関連する主題について口頭試問を行います。

■社会学研究科 学内推薦 研究生推薦 (6 月試験)

1. 出願資格

[学内推薦]

本学のいずれかの学部を卒業した者で、下記の(1)～(3)までのすべてに該当する者。

- (1)成績優秀で、研究意欲と能力を有し、かつ卒業後3年以内の者。
- (2)下記に定める推薦条件を満たし、学部指導教員(演習担当教員等)の推薦を得ている者。
- (3)本学大学院研究科を専願する者。

学内推薦条件

卒業時の成績が、原則としてS評価、A評価併せて20科目以上とする。また、編入学生については、編入前の在籍校の成績と本学卒業時成績とを加算する。

なお、所定の科目数に満たない場合であっても、特色ある活動、資格等を考慮し出願を認める場合があるので、必ず出願期間前に学部事務室にお申し出ください。

〔例：社会福祉士、社会調査士、海外長期留学、海外交換留学、日本商工会議所簿記検定2級、実用英語技能検定2級、TOEIC®500点以上、基本情報技術者、学生論集に入選した者、上記に準ずる者〕

(注意事項)

以下の場合、必ず出願期間前に学部事務室にお申し出ください。

- ・社会学部以外の学部生
- ・3年次、4年次に演習を履修していない場合

[研究生推薦]

下記の(1)～(3)までの全てに該当する者。

- (1)出願時に本学大学院研究科に研究生として在籍している者。
- (2)本学指導教員の推薦を受けた者。
- (3)本学大学院研究科を専願する者。

2. 選考方法

面接試験、出願書類により総合的に判定します。

3. 試験日時・科目

《6月試験》 2025年6月15日(日)

[学内推薦] [研究生推薦]

時 間	試 験 科 目	内 容 等
13:00 }	面 接	研究計画について口頭試問を行います。

■経済学研究科 学内推薦 研究生推薦 (6月試験)

1. 出願資格

[学内推薦]

(1) 本学のいずれかの学部を2025年9月30日までに卒業見込みの者、または卒業後3年以内の者で、下記の①～③までのすべてに該当する者。

- ① 成績優秀で、研究意欲と能力を有する者。
- ② 下記に定める推薦条件を満たし、学部指導教員（演習担当教員等）の推薦を得ている者。
- ③ 本学大学院研究科を専願する者。

学内推薦条件

4年次修了時（あるいは卒業時）の成績が、原則としてS評価、A評価併せて14科目以上とする。また、編入学生については、編入前の在籍校の成績と本学卒業時成績とを加算する。

なお、所定の科目数に満たない場合であっても、特色ある活動、資格等を考慮し出願を認める場合があるので、必ず出願期間前に学部事務室にお申し出ください。

〔例：海外長期留学、海外交換留学、日本商工会議所簿記検定2級、英語基礎能力の習得（TOEIC®550点以上等）、基本情報技術者、ITパスポート、FP技能士3級以上、ERE（経済学検定試験）の評価がB以上の者、情報セキュリティマネジメント合格、学生論集に入選した者、ゼミ論文の優秀な者〕

（注意事項）以下の場合、必ず出願期間前に学部事務室にお申し出ください。

- ・経済学部以外の学部生
- ・3年次、4年次に演習を履修していない場合

(2) 本学大学院他研究科を2025年9月30日までに修了見込みの者、または修了後3年以内の者で、下記の①～③までのすべてに該当する者。

- ① 成績優秀で、研究意欲と能力を有する者。
- ② 下記に定める学内推薦条件を満たし、指導教員の推薦を得ている者。
- ③ 本学大学院研究科を専願する者。

学内推薦条件

本学大学院他研究科1年次修了時、または卒業時の成績がS評価、A評価併せて、20単位以上とする。

[研究生推薦]

下記の(1)～(3)までの全てに該当する者。

- (1) 出願時に本学大学院研究科に研究生として在籍している者。
- (2) 本学指導教員の推薦を受けた者。
- (3) 本学大学院研究科を専願する者。

2. 選考方法

[学内推薦] 面接試験、出願書類により総合的に判定します。

[研究生推薦] 筆記試験、面接試験、出願書類により総合的に判定します。

3. 試験日時・科目

《6月試験》 2025年6月15日(日)

[学内推薦]

時 間	試験科目	内 容 等
13:00 }	面 接	研究計画に関連する主題について口頭試問を行います。

[研究生推薦]

時 間	試験科目・配点	内 容 等
13:00 } 13:45	外国語(100点)	英語、日本語の中から1か国語を選択してください。但し、受験生にとっての第一言語以外に限りません。(本学大学院研究科で用意する辞書使用可。但し、日本語辞書は使用不可)
14:00 }	面 接	研究計画に関連する主題について口頭試問を行います。

【出願の際の手続き】

出願するためには、事前に希望指導教員からの「内諾」が必要となります。

本学大学院ホームページの教員一覧より、希望指導教員を確認し、自身で希望指導教員に直接連絡をとり、研究計画について相談のうえ「内諾」の連絡を受けとってください。

①希望指導教員より内諾を得た方には入試課から「内諾」の通知書をお送りいたします。

なお「内諾」は合格を保証するものではありません。あくまでも、出願資格を認めるというものです。

②希望指導教員から内諾を得るに至らなかった場合は、希望する指導教員を2名まで申告すること。上記の手続きを行い、出願書類の研究計画書には①内諾を得られた場合の希望指導教員または②内諾を得られていない希望指導教員を明記する必要があります。(入学後、指導教員が変わる可能性があります。)

「内諾」の手続きには1週間程度の時間がかかりますので、研究計画についての指導教員への相談は2025年5月20日(火)までに完了してください。

【教員一覧】

<https://www.andrew.ac.jp/researchers/c5o8gl000000000en.html>



1. 出願資格

【一般・社会人・留学生】の出願資格(3)または(4)による志願者は、必ず出願期間前に学部準備室までお問い合わせください。

【学内推薦】

(1)本学のいずれかの学部を2025年9月30日までに卒業見込みの者、または卒業後3年以内の者で、下記の①～

③までのすべてに該当する者。

① 成績優秀で、研究意欲と能力を有する者。

② 下記に定める推薦条件を満たし、学部指導教員(演習担当教員等)の推薦を得ている者。

③ 本学大学院研究科を専願する者。

学内推薦条件

4年次修了時、または卒業時の成績がS評価、A評価併せて60単位以上とする。また、編入学生については、編入前の在籍校の成績と本学卒業時成績とを加算する。なお、所定の単位数に満たない場合であっても、特色ある活動、資格等を考慮し出願を認める場合があるので、必ず出願期間前に学部事務室にお申し出ください。

【例：海外長期留学、海外交換留学、日本商工会議所簿記検定2級、実用英語技能検定2級、TOEIC®500点以上、基本情報技術者、学生論集に入選した者、上記に準ずる者】

(注意事項) 以下の場合は、必ず出願期間前に学部事務室にお申し出ください。

・3年次、4年次に演習を履修していない場合

・特色ある活動、資格等の認定を希望する場合

(2)本学大学院他研究科を2025年9月30日までに修了見込みの者、または修了後3年以内の者で下記の①～③

までのすべてに該当する者。

① 成績優秀で、研究意欲と能力を有する者。

② 下記に定める学内推薦条件を満たし、指導教員の推薦を得ている者。

③ 本学大学院研究科を専願する者。

学内推薦条件

本学大学院他研究科1年次修了時、または卒業時の成績がS評価、A評価併せて、20単位以上とする。

【一般】

下記の(1)～(3)のいずれかに該当する者。

(1)大学を卒業した者、または、2025年9月30日までに卒業見込みの者。

(2)文部科学大臣の指定した者。以下の者を含む。

① 修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科

② 修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科

③ 高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科のいずれかであって、学位規則第6条第1項の規定に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定された教育機関を修了し、学士の学位を授与された者、または修了する見込みの者で2025年9月30日までに学士の学位を授与される見込みの者。

(3)本学大学院研究科の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認定した者で、2025年10月1日現在で満22歳に達している者。

[社会人A]

下記の(1)～(3)のいずれかを満たし、かつ(4)に該当する者。

- (1)大学を卒業した者。
- (2)文部科学大臣の指定した者。以下の者を含む。
 - ① 修業年限 2 年の短期大学に置かれた修業年限 2 年の専攻科
 - ② 修業年限 3 年の短期大学に置かれた修業年限 1 年の専攻科
 - ③ 高等専門学校に置かれた修業年限 2 年の専攻科のいずれかであって、学位規則第 6 条第 1 項の規定に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定された教育機関を修了し、学士の学位を授与された者、または修了する見込みの者で 2025 年 9 月 30 日までに学士の学位を授与される見込みの者。
- (3)本学大学院研究科の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認定した者で、2025 年 10 月 1 日現在で満22歳に達している者。
- (4)次のいずれかに該当し、本学大学院研究科が個別審査で適当と認めた者。
 - ① 企業・行政体等において、出願時に 3 年以上の実務経験を有する者。
 - ② 上記と同等以上の社会的経験を有する者。

[社会人B]

下記の(1)～(3)のいずれかを満たし、かつ(4)に該当する者。

- (1)大学を卒業した者。
- (2)文部科学大臣の指定した者。以下の者を含む。
 - ① 修業年限 2 年の短期大学に置かれた修業年限 2 年の専攻科
 - ② 修業年限 3 年の短期大学に置かれた修業年限 1 年の専攻科
 - ③ 高等専門学校に置かれた修業年限 2 年の専攻科のいずれかであって、学位規則第 6 条第 1 項の規定に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定された教育機関を修了し、学士の学位を授与された者、または修了する見込みの者で 2025 年 9 月 30 日までに学士の学位を授与される見込みの者。
- (3)本学大学院研究科の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認定した者で、2025 年 10 月 1 日現在で満 22 歳に達している者。
- (4)次のいずれかに該当し、本学大学院研究科が個別審査で適当と認めた者。
 - ①企業・行政体等において、出願時におおむね10年以上の実務経験を有する者。
 - ②上記と同等以上の社会的経験を有する者。

[留学生]

下記の(1)～(3)のいずれかに該当する者。

- (1)外国における正規の教育課程に基づく学校において、16 年の課程を修了した者。
- (2)日本において外国人留学生として大学を卒業した者、または、2025 年 9 月 30 日までに卒業見込みの者。
- (3)本学大学院研究科の個別審査により、前 2 項と同等以上の学力を有すると認定した者で、2025 年 10 月 1 日現在で満22歳に達している者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けた者と認定された外国人は除く。

2. 選考方法

[学内推薦] 面接試験、出願書類（英語、専門科目に S 評価、A 評価が多いことを重視）により総合的に判定します。

[一般・社会人A・留学生] 筆記試験、面接試験、出願書類により総合的に判定します。

[社会人B] 面接試験、出願書類により総合的に判定します。

3. 試験日時・科目

《 6 月試験 》 2025 年 6 月 15 日 (日)

[学内推薦]

時 間	試験科目	内 容 等
13 : 00 }	面 接	研究計画について口頭試問を行います。

[一般] [社会人 A] [留学生]

時 間	試験科目・配点	内 容 等
10 : 30 } 12 : 00	小 論 文 (100 点)	経営学と会計学に関する以下の3冊を課題として指定します。各課題図書からそれぞれ1問ずつ出題しますので、その中から1問を選択してください。但し、会計学分野を専攻しようとする方は、課題図書BまたはCから出題される問のいずれか1問を選択してください。 課題図書： A. 藤田 誠『経営学入門 (【ベーシック+】)』中央経済社 2015年刊。 B. 桜井久勝・須田一幸『財務会計・入門 第17版』有斐閣アルマ、2024年刊。 C. 谷 武幸『エッセンシャル 管理会計 第4版』中央経済社、2022年。 以下は試験問題の例示です。 A関係：経営戦略には企業戦略(全社戦略)と事業戦略(競争戦略)があるが、それぞれの理論で論じられていることを比較しながら説明しなさい。 B関係：金融商品取引法と会社法による財務会計の相違を説明しなさい。 C関係：ABC(活動基準原価計算)における資源ドライバーとコストドライバーを説明しなさい。
13 : 00 }	面 接	研究計画について口頭試問を行います。

[社会人 B]

時 間	試験科目	内 容 等
13 : 00 }	面 接	研究計画について口頭試問を行います。

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員
文学研究科	比較文化学専攻	4名
社会学研究科	応用社会学専攻	3名
経済学研究科	応用経済学専攻	3名
経営学研究科	経営学専攻	3名

※ 募集人員は2025年度の全入試制度を合わせたもの。

2. 出願資格

P.20～P.23の該当箇所を参照してください。

3. 出願手続

大学院入試 博士後期課程 希望指導教員の内諾について

本学博士前期課程在籍者を除く文学研究科、社会学研究科、経済学研究科、経営学研究科の博士後期課程に出願する者は、**出願前に研究指導を希望する教員（希望指導教員）の「内諾」が必ず必要になります。内諾がない場合には受験することができませんので注意してください。**

【内諾を得るための手続き】

出願書類を提出する前に、次の書類を本学の学部事務室宛に提出してください。

提出書類 ・ 修士論文のコピー、あるいはそれに相当する業績のコピー

- ・ 研究計画書（文学研究科：A4判用紙を用い2,000字以内で記入 ※ 原則として自筆とします。）
（社会学研究科・経済学研究科・経営学研究科:本大学院所定の用紙に800字以内で記入。）
- ・ 学歴等確認書（本大学院所定の用紙を使用してください。）

提出期限 2025年5月20日（火）〔必着〕

提出先 〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 桃山学院大学 入学試験事務室

内諾必要書類受領後、本学の入試・広報課より「内諾の可否」の通知をお送りいたします。

「内諾」は合格を保証するものではありません。あくまでも、出願資格を認めるというものです。
出願の際には、上記手続で提出した書類の再提出は必要ありません。

【教員一覧】

<https://www.andrew.ac.jp/researchers/>



(1) 出願受付期間

2025年5月12日（月）～5月30日（金）〔締切日必着〕

(2)出願書類

①～③については本大学院所定の用紙を使用してください。

【注 意】日本語と英語以外の言語で記載された出願書類について

大使館・領事館・日本語学校（但し、この場合は日本語学校名、翻訳者名とそれぞれの印を必ず押印のこと）等の公的機関において原本の内容に相違ないという証明を受けた、日本語または英語の翻訳を付すること。

【注 意】各種証明書の氏名がパスポートの記載と異なる場合

大使館・領事館・日本語学校等の公的機関による同一人物であるという証明書を提出すること。

- ① 入学志願票 必ず本人が記入すること
- ② 入学検定料収納証明書（B）※ 入学志願票に貼付してください。
- ③ 学歴等確認書
- ④ 出身大学発行の卒業証明書および成績証明書（学部）の原本
（出願前3ヶ月以内に発行されたもの／併記されたものも可）※ コピー不可
※ 本学大学院博士前期課程修了（見込）者は、提出不要
- ⑤ 出身大学院発行の修了（見込）証明書および成績証明書の原本
（出願前3ヶ月以内に発行されたもの／併記されたものも可）※ コピー不可
- ⑥ 研究計画書（文学研究科：A4 判用紙を用い 2,000 字以内で記入 ※ 原則として自筆とします。）
（社会学研究科・経済学研究科・経営学研究科:本大学院所定の用紙に 800 字以内で記入）
- ⑦ 修士論文の写し ※ あるいは同等以上と認められる「研究論文」の写し
- ⑧ 修士論文（研究論文）の要約 A4 判用紙を用いて 2,000 字以内で記入

【以下の⑨～⑫については留学生のみ提出すること。ただし、本学大学院博士前期課程修了見込者は提出不要】

- ⑨ パスポートの写し（氏名・パスポート番号・顔写真のページ）
- ⑩ 在留カードの写し
- ⑪ 住民票（出願以前 3 ヶ月以内に発行されたもの）
- ⑫ く日本語学校在籍者（修了者含む）のみ）日本語学校発行の修了（見込）証明書および成績証明書の原本

(3)入学検定料

35,000 円

振込方法については「4. 入学検定料の振込方法」参照。

(4)出願方法

入学検定料納入後、本学入学試験事務室（学部事務室）へ郵送または持参してください。

- ① 郵送の場合
簡易書留・速達郵便にて出願期間内に必着するよう郵送してください。封筒は市販の角2封筒に所定の宛名ラベルを貼って郵送してください。
- ② 持参の場合
受付時間……平日 9：00～17：00
桃山学院大学 入学試験事務室（学部事務室） 〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1

4. 入学検定料の振込方法

下記の方法で納入してください。現金や為替では受け付けません。なお、入学検定料の振込みは、出願受付開始日の1週間前から可能です。

(1) 銀行等金融機関での振込みの場合

- ① 本大学院所定の入学検定料振込依頼票（A）、収納証明書（B）、領収書（C）に所定事項を記入し、切り離さずに入学検定料をそえて最寄りの金融機関（郵便局（ゆうちょ銀行）を除く）の窓口へ提出してください（三菱UFJ銀行の本・支店で振込みの場合、手数料は受取人負担です）。ATMからの振込みはしないでください。
- ② 金融機関窓口で呈示の際、振込依頼票（A）の**枠部分（振込先など）を打電**するよう依頼してください。
- ③ 金融機関の収納印が**収納証明書（B）、領収書（C）にもれなく押印されているか確認**してください。収納印のない入学願書は受け付けません。
- ④ 収納証明書（B）は、入学志願票の所定欄に貼付してください。
- ⑤ 領収書（C）は、**志願者本人が保管**しておいてください。

5. 出願についての注意

(1) 海外在住で出願をお考えの方は、桃山学院大学学部事務室まで、できるだけ早くご連絡ください。

〔TEL〕 0725-92-7062（学部事務室直通）

〔MAIL〕 gakubuop@andrew.ac.jp

(2) 既納の入学検定料および出願書類は理由の如何にかかわらず返還しません。

(3) 出願書類に虚偽の記載が判明した場合、合格あるいは入学を取り消します。

※ 障がいのある入学志願者の受験について

- 身体、機能に障がいのある方、精神障がい、発達障がいの方は、受験に際して特別な配慮を必要とする方は、出願前に学部事務室まで必ずご相談ください。
- 本学では、支援メニューや施設については一定の範囲内で見直し・改善に努めておりますが、個別的な配慮には限界があります。入学後の学修や、学生生活について、出願前には学部事務室、入学決定後には指導教員にご相談ください。

6. 試験日、場所

(1) 試験日

2025年6月15日（日）

(2) 試験地 桃山学院大学 和泉キャンパス（大阪府和泉市まなび野 1 - 1）

7. 選考方法

P.20 ～ P.23 の該当箇所を参照してください。

8. 受験についての注意

- (1) 受験者は、受験票に記載された集合時間までに試験室に入室し、各自の受験番号で示された席についてください。
- (2) 机の上に置くことのできるものは、受験票、鉛筆（HB）、消しゴム、簡易鉛筆削り、時計（時計機能だけのもの）、眼鏡に限ります。下敷きの使用は認めません。
- (3) 「電子辞書」「携帯電話」「スマートフォン」「腕時計型端末」「ICレコーダー」等の電子機器類は使用できません。試験室内では、必ず電源を切ってください。
- (4) 試験開始 15 分経過後は、許可なく試験室に入ることはいけません。本学係員の指示に従ってください。また、試験時間の2分の1経過後の入室は認めません。但し、公共交通機関の事故などによる遅刻の際には特別に受験を認めることがありますので、延着証明書などを持参し試験実施本部に申し出てください。
- (5) 試験時間の途中で退室する事はできません。但し、病気のため受験に耐えられなくなった場合などは、監督者にその旨を告げ、指示に従ってください。
- (6) 試験場内においては、すべて係員の指示に従ってください。
- (7) 試験日当日、自家用車での来場は禁止します。また、学内の食堂は利用できません。
- (8) 駅および試験場周辺で合否電話や電報の受付、特に住居紹介などの案内を配布する者があっても、本学とは一切関係ありませんので、十分注意してください。

9. 合格発表

(1)合格発表日

2025 年 6 月 18 日（水）[投函予定日]

(2)発表方法

合否結果は全受験者に郵送にて通知します。電話などによる問い合わせには一切応じません。合否通知が投函予定日の翌々日になっても届かない場合は、必ず 学部事務室までご連絡ください。合格通知書の未着による入学手続期間の延長は一切認めません。

漢字氏名の表記について

本学では受験生の漢字氏名表記に関して、本学のコンピュータシステムで対応できる範囲の文字で表記します。詳しくは合格通知書に同封する「入学手続案内書」を参照してください。

10. 入学手続

合格者は下記期間内に入学手続Ⅰ（入学申込金の納入。本学大学院博士前期・修士課程修了者は、入学手続Ⅰ申込書〈本大学院所定〉を提出すること。）及びⅡ（前期授業料の納入および入学手続書類の送付）を完了してください。詳しくは、合格通知書に同封する入学手続書類に明記します。なお、各期間内に所定の手続を完了しない場合は、入学辞退とみなしますので十分に注意してください。

入学手続Ⅰ：2025 年 6 月 19 日（木）～7 月 4 日（金）[締切日]

入学手続Ⅱ：2025 年 6 月 19 日（木）～7 月 16 日（水）[締切日]

注 1) 入学申込金は、前期授業料を納入した時点で入学金に充当します。

2) 一旦納入された入学申込金及び提出書類は、返還いたしません。

3) 入学手続Ⅱ完了後に入学を辞退される場合、2025 年 9 月 1 日 17:00 までに申し出のあった方については、入学金（入学申込金）以外の既納付金（授業料）を返還いたします。詳細は入学手続案内書を参照してください。

11. 学 費

① 学費

種 別	1 年 次 所 要 額	
	入学時（前期）	後 期
入 学 金 ※入学年度のみ	300,000円	-
授 業 料	362,500円	362,500円
計	662,500円	362,500円

※本学大学院博士前期課程修了者の入学金は免除し、授業料は 所定額より年額50,000円（各期25,000円）を減額するものとします。

※本学学部卒業生が入学する場合は、入学金は所定額の2分の1とし、授業料は 所定額より年額50,000円（各期25,000円）を減額するものとします。

12. 外国人留学生に対する諸制度

外国人留学生に対して下記の諸制度を用意しています。

①私費外国人留学生対象の奨学金・授業料応急減免制度（国際センター事務課）

②入学後の学費延納制度（学生支援課）

上記の各制度の詳細については、以下までお問い合わせください。

<国際センター事務課>

TEL : (+81-725-92-7531) E-Mail: ryugakusei@andrew.ac.jp

<学生支援課>

E-Mail: gakusei@andrew.ac.jp

■文学研究科

1. 出願資格

下記の（１）～（４）のいずれかに該当する者。

（１）修士の学位を有する者、または２０２５年９月３０日までに取得見込みの者。

（２）（１）と同等以上の外国の学位を有する者、または２０２５年９月３０日までに取得見込みの者。

（３）文部科学大臣の指定した者。

（４）修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学大学院研究科において認められた者。

※ 出願資格（３）または（４）による志願者は、必ず出願期間前に学部事務室までお問い合わせください。

※ 本学博士前期課程を課題報告型で修了された場合は、大学院博士後期課程に進学することはできません。

（博士後期課程の入学審査時に修士論文の内容を審査します。）

2. 選考方法

面接試験、出願書類により総合的に判定します。

3. 試験日時・科目

《 ６月試験 》 ２０２５年 ６月 15 日（日）

時 間	試 験 科 目	内 容 等
13：00 ～	面 接	修士論文もしくは、研究計画に関連する主題、および研究当該地域の言語能力についての口頭試問を行います。

■社会学研究科

1. 出願資格

下記の(1)～(4)のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位を有する者、または2025年9月30日までに取得見込みの者。
- (2) (1)と同等以上の外国の学位を有する者、または2025年9月30日までに取得見込みの者。
- (3) 文部科学大臣の指定した者。
- (4) 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学大学院研究科において認められた者。

※出願資格(3)または(4)による志願者は、必ず出願期間前に学部事務室までお問い合わせください。

2. 選考方法

面接試験、出願書類により総合的に判定します。

3. 試験日時・科目

《6月試験》2025年6月15日(日)

時 間	試 験 科 目	内 容 等
13:00 ～	面 接	修士論文またはそれと同等以上の研究業績等についての口頭試問、ならびに研究計画を中心に行います。

■経済学研究科

1. 出願資格

下記の（１）～（４）のいずれかに該当する者。

- （１）修士の学位を有する者、または 2025 年 9 月 30 日までに取得見込みの者。
- （２）（１）と同等以上の外国の学位を有する者、または 2025 年 9 月 30 日までに取得見込みの者。
- （３）文部科学大臣の指定した者。
- （４）修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学大学院研究科において認められた者。

※ 出願資格（３）または（４）による志願者は、必ず出願期間前に学部事務室までお問い合わせください。

2. 選考方法

筆記試験、面接試験、出願書類により総合的に判定します。

3. 試験日時・科目

《 6 月試験 》 2025 年 6 月 15 日（日）

時 間	試験科目・配点	内 容 等
13:00 ～ 14:30	外 国 語 (100点)	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、日本語の中から1か国語を選択してください。但し、受験生にとっての第一言語以外に限ります。（本学大学院研究科で用意する辞書使用可。但し、日本語辞書は使用不可）なお、英語・日本語以外の言語を選択する場合は、出願期間前に入試・広報課にお申し出ください。
15:00 ～	面 接	修士論文またはそれと同等以上の研究業績等についての口頭試問、ならびに研究計画を中心に行います。

■経営学研究科

1. 出願資格

下記の（１）～（４）のいずれかに該当する者。

- （１）修士の学位を有する者、または 2025 年 9 月 30 日までに取得見込みの者。
- （２）（１）と同等以上の外国の学位を有する者、または 2025 年 9 月 30 日までに取得見込みの者。
- （３）文部科学大臣の指定した者。
- （４）修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学大学院研究科において認められた者。

※ 出願資格（３）または（４）による志願者は、必ず出願期間前に学部事務室までお問い合わせください。

2. 選考方法

筆記試験、面接試験、出願書類により総合的に判定します。

※但し、大学・短期大学等における教職、または研究機関等における研究職に関する経歴（それと同等の経歴を含む）を持ち、かつ、言語能力を判定するに十分な研究業績等を有する者については、その研究業績等の審査をもって「外国語」試験にかえることができます。該当する場合は、必ず出願期間前に学部事務室までお問い合わせください。

3. 試験日時・科目

《 6 月試験 》 2025 年 6 月 15 日（日）

時 間	試験科目・配点	内 容 等
10：30 ～ 12：00	外 国 語 (100点)	英語、日本語の中から1か国語を選択してください。但し、受験生にとっての第一言語以外に限ります。（本学大学院研究科で用意する辞書使用可。但し、日本語辞書は使用不可。）
13：00 ～	面 接	修士論文またはそれと同等以上の研究業績等についての口頭試問を行います。

1. 「大学院修士段階における授業料後払い制度」について

2024年度から国による大学院修士段階(博士前期課程)における「授業料後払い制度」が創設されました。ついては、本制度の利用を検討される方は下記の内容をご確認下さい。

【対象者】

- 以下の条件を全て満たす者：
- ・2025(令和7)年度秋の新規入学者
 - ・本人の希望に基づき、在学(進学先)を通じて申請を行った者
 - ・日本学生支援機構(JASSO)の修士段階を対象とした月額5万円または8万8千円の第一種奨学金と同様の家計基準及び学業成績基準を満たす者
 - ・過去に貸与を受けた奨学金の返還が延滞中である等、第一種奨学金の貸与を受けられない事由がない者

【授業料の猶予】

入学手続時に2025年後期授業料の納入を猶予します。
ただし、支援の対象となる授業料が支援限度額(年額776,000円)を上回る場合、差額の納付が必要となります。
(本学大学院の年間授業料は支援限度額の範囲内です)
入学申込金・諸会費は本制度の対象にはなりません。

【申請方法】

- ①提出書類：「授業料後払い制度」希望申請書 ※本学入試情報サイトよりダウンロードしてください
- ②提出締切日：各入試の出願期間内(出願書類に同封してください)
- ③提出先：出願する研究科(出願書類に同封してください)

【注意事項】

- ・本制度は貸与奨学金であり、修了後の所得に応じて、日本学生支援機構に返還する必要があります。また、機関保証への加入が必要となり、保証料の支払いも必要となります。
- ・本制度の利用を希望する場合は、本学大学院に入学後、日本学生支援機構に貸与奨学金の申請を行う必要があります。
- ・本制度に採用されなかった場合、別途指定する期限までに授業料を全額納入することが必要となります。
- ・本制度を利用した場合、第一種奨学金の貸与を受けることができませんが、別途「生活費奨学金(貸与・無利子)」として月額2万円または4万円で貸与を受けることもできます。

2. 学費ローン

本学では、株式会社ジャックスと提携し、本学に納入する入学手続時納入金に利用できる「学費ローン」を導入しています。詳しくは、下記のコールセンターへお問い合わせください。

〔株式会社ジャックス〕 0120-338-817

3. 国の教育ローン(日本政策金融公庫)

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。学生お1人につき350万円以内を固定金利(年3.15%〈令和7年5月現在〉)で利用でき、在学期間内は利息のみのご返済とすることができます。

詳しくは下記のコールセンターへお問い合わせください。

〔教育ローンコールセンター〕 0570-008656(ナビダイヤル) ※上記番号が利用できない場合03-5321-8656

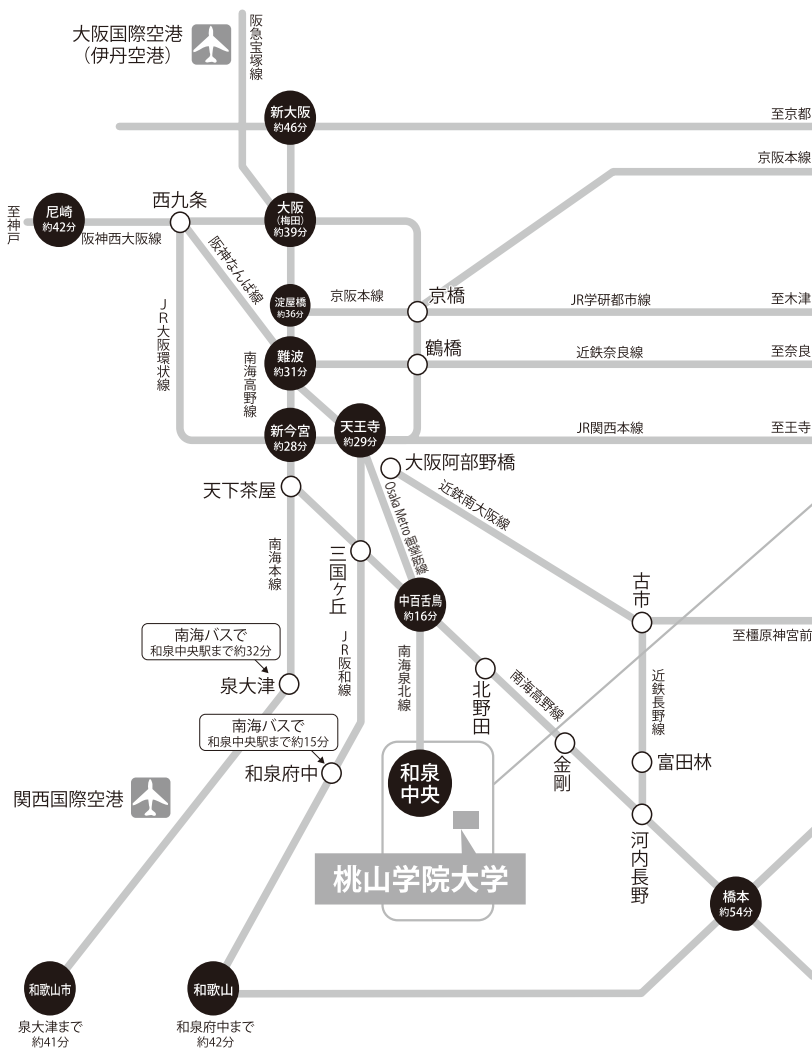
日本政策金融公庫「教育一般貸付(国の教育ローン)」

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

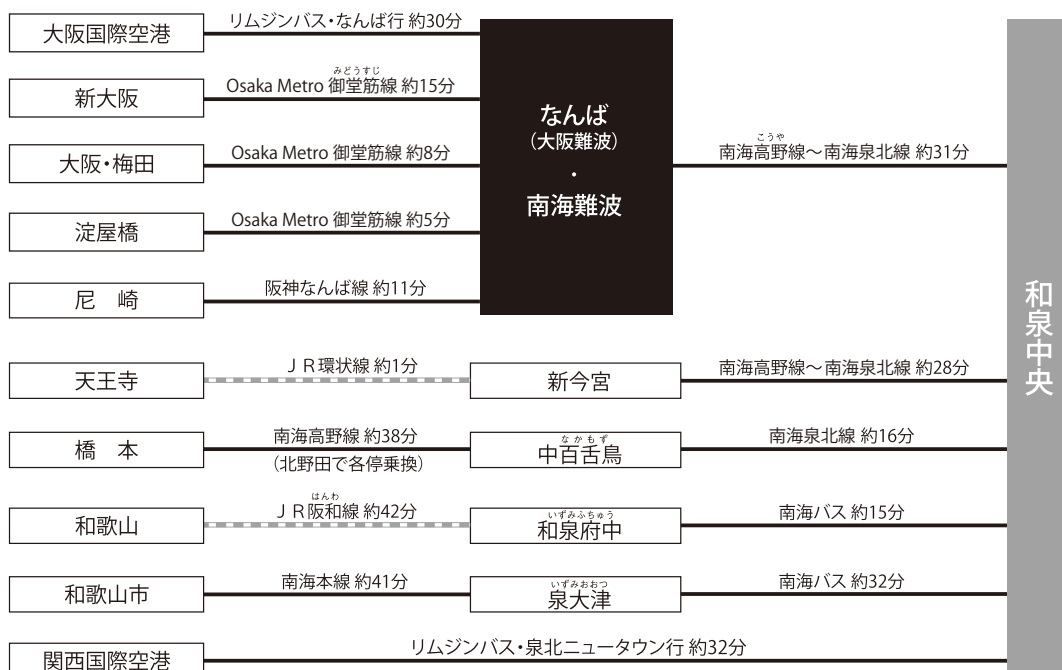
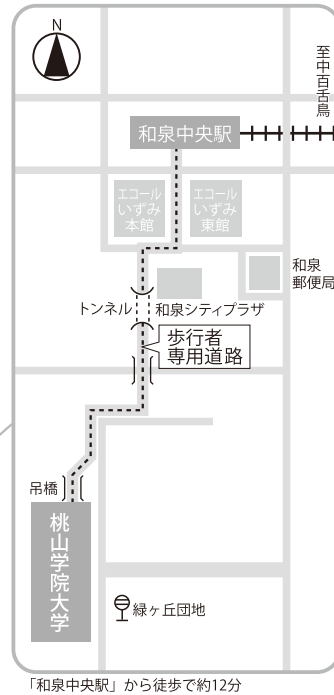
※ホームページからもお申し込いただけます。

桃山学院大学案内図

※所要時間はおおよその時間です。詳しい時間については各自でご確認ください。
※各駅からの所要時間は、特記事項のない限り、和泉中央駅までの所要時間を表しています。



■ アクセスマップ



注意

和泉府中駅、泉大津駅、空港からのバスを利用する場合、バスの本数が限られていますのでご注意ください。なお、和泉府中駅、泉大津駅、金剛駅、富田林駅からの「本学行き直行バス」は、在学生のみ対象です。